

第6学年 「ダンをどうする？」 平成30年6月20日（水）

主題名「広い心で」（B 相互理解, 寛容）

目の見えない犬「ダン」を拾った子供たちは、団地で飼って世話をしたいと団地の役員に申し出ます。最初は自治会の規則を重視して子供たちの要望を受け付けなかった役員たちも、自分たちの考えや意見を伝えようとする子供たちの真摯な姿に意見を考え直そうとします。

今回は実話を元にした教材を用い、教科書の挿絵をホワイトボードに写しながらお話をしました。

6年生の児童はまず、ダンを飼う許可をもらうために団地の子供たちがどのようなことを考えながら話し合いをしたかを考えました。次に団地の役員や子供たちのどのような思いがダンを飼うことの許可につながったかを考え、意見を紹介し合いました。最後に互いに理解し合いながら生活していくためにはどうしたらよいかを考えてワークシートに書きました。

この授業を通して広い心で相手の立場や意見を尊重することが、よりよい結論や結果に結びつくというよさについて気付くことができました。

